BCST-42

Bluetooth® 2D バーコードスキャナー

取扱説明書

コンテンツ

ご注意…… 1
BCST-42 バーコードスキャナーについて……2
　製品パラメータ…… 2
　LED インジケーター…… 2
　ビープ音…… 3
　対応バーコード…… 4
快速開始…… 6
ボタンを利用して快速機能切替を実現する…… 7
基本設定…… 8
　システム設定…… 8
　キーボード設定…… 8
　カスタム設定を保存する…… 9
　工場出荷時の設定に戻す…… 10
　ソフトウェアのバージョン番号の確認…… 10
　バッテリー残量表示…… 11
　データ伝送スピード…… 11
　自動スリープモード…… 12
　データバッファ…… 12
　在庫モード…… 13
　照明光制御…… 15
　ビゲーションライト制御…… 15
　ナビゲーションライト点滅…… 15
　音量調整…… 16
　振動通知…… 16
　スキャニングモード…… 17
　　自動赤色光遮断モード…… 17
　　連続読み取りモード…… 18
　　手動モード…… 19
　　ハンズフリーモード…… 19
接続方法…… 20
　ワイヤレス Bluetooth モード…… 20

Bluetooth 名前の設定…… 22
バーコード設定…… 23
Codabar…… 23
Codabar を有効/無効にする…… 23
スタート・ストップキャラクタを伝送する…… 23
Code 11…… 23
Code 11 を有効/無効にする…… 23
チェックサム検証…… 24
Code 128…… 25
Code128 を有効/無効にする…… 25
GS1-128 (UCC-128/EAN-128)…… 25
GS1-128 (UCC-128/EAN-128)を有効/無効にする…… 25
USPS と FedEx…… 25
USPS と FedEx を有効/無効にする…… 25
Code 39…… 26
Code 39 を有効/無効にする…… 26
スタート・ストップキャラクタを伝送する…… 26
チェックサム検証…… 26
ASCII コード認識範囲の設定…… 27
VIN (車両識別番号)…… 27
Code 39 VIN (車両識別番号)を有効/無効にする…… 27
Code 32…… 27
Code 32 を有効/無効にする…… 27
Code 93…… 28
Code 93 を有効/無効にする…… 28
EAN-8…… 28
EAN-8 を有効/無効にする…… 28
チェックサム検証…… 28
EAN-13…… 29
EAN-13 を有効/無効する…… 29
チェックサム検証…… 29
ISBN…… 29

EAN-13 を ISBN に変換する……29
EAN-13 を ISSN に変換する……29
MSI……30
MSI を有効/無効する……30
Checksum Code チェックサム検証……30
UPC-A……31
UPC-A を有効/無効にする……31
UPC-A に 0 を付加する……31
チェックサム検証……32
ナンバーシステムキャラクタ……32
UPC-E……32
UPC-E を有効/無効にする……32
UPC-E1 を有効/無効にする……33
UPC-E の先頭文字を有効/無効にする……33
UPC-E を UPC-A に変換する……33
チェックサム検証……33
IATA 2 of 5……34
IATA 25 を有効/無効にする……34
Interleaved 2 of 5……34
Interleaved 2 of 5 を有効/無効にする……34
Matrix 2 of 5……34
Matrix 2 of 5 を有効/無効にする……34
Standard 2 of 5 / Industrial 2 of 5……34
Standard 2 of 5/Industrial 2 of 5 を有効/無効する……34
GS1 DataBar……35
GS1 DataBar を有効/無効する……35
GS1 DataBar Composite を有効/無効する……35
QR Code……35
QR Code を有効/無効する……35
通常/白黒反転 QR コード認識……36
Data Matrix……36
Data Matrix を有効/無効する……36

通常/白黒反転 Data Matrix 認識……36
PDF 417……37
PDF 417 を有効/無効する……37
Aztec code……37
Aztec Code を有効/無効する……37
Maxi code……37
Maxi Code を有効/無効する……37
Han Xin Code……38
Han Xin Code を有効/無効する……38
通常/白黒反転 Han Xin Code 認識……38
データフォーマットを編集する……39
Code ID……39
Code ID リスト……39
バーコードの停止コードに関する設定……40
プレフィックス/サフィックス設定……41
バーコードデータの先頭/末尾文字の削除……42
大文字/小文字の設定……43
追加コード……43
区切り文字……45
Caps Lock 制御……45
特定の文字で始まるバーコードのみを出力する……45
白黒反転したバーコードを出力する……46
特定の開始文字を非表示する……46
タイムスタンプ……47
ショートカットキー……50
出力文字タイプ……50
GS（^]）をランダム文字に置換……51
付録 Ⅰ：キャラクター……52
付録 Ⅱ：単独ショートカットキー……59
付録 Ⅲ：組み合わせショートカット……61

ご注意

安全な使用のために

感電や火災の原因になりますので、装置やバッテリを分解したり、改造したりしないでください。

本機は、火のそば、炎天下の車内、直射日光の当たる場所などで放置をしないでください。

お手入れについて

清潔なタオルでスキャナーの外表面を拭きます。

振動、ほこり、高温、低温、多湿、強い磁気、直射日光を避ける場所に保管してください。

故障が発生した場合は、不具合の状況を記録し、カスタマーサービスにご連絡ください。

BCST-42 バーコードスキャナーについて

製品パラメータ

商品型番	BCST-42
材質	PC+TPU
電池容量	1200mAh
電源	DC 5V
読取可能のバーコード	Code 128、EAN-13、EAN-8、UPC-A、UPCE、Code 39、Code 93、Codabar、Interleaved 2 of 5、 Standard 2 of 5、Industrial 2 of 5、Matrix 2 of 5、IATA 2 of 5、MSI、Code 11、ISBN、ISSN QRCode、PDF-417、 Aztec Code、Data Matrix、GS1 128、GS1 DataBar、GS1 DataBar Expanded、GS1 DataBar Limited、GS1 DataBar Composite
解像度	3mil
スキャンモード	自動/手動モード
印刷コントラスト	20%
読取角度	ロール 30°、ピッチ 75°、ヨー 80°
Bluetooth バージョン	Bluetooth 5.0
ワイヤレス伝送帯域	2.402GHz~2.480GHz
ワイヤレス送信電力	4dbm

LED インジケーター

LED インジケーター状態	動作
緑色の LED が点滅している	BCST-42 が Bluetooth ワイヤレステクノロジーを介してペアリングされているが、デバイスに接続されていません。スキャナーは再接続しようとしています。
緑色の LED が一回点滅した	バーコードが正常に読み取られ、コンピュータにアップロードされました。
青色の LED が点滅している	Bluetooth 接続待ちの状態で、他のデバイスで検出可能となります。

青色の LED が一回点滅した	バーコードは正常に読み取られ、バッファに保存されました。
青色の LED が常時点灯している	セットアップモード
黄色の LED が点滅	ローバッテリー
赤色の LED が常時点灯している	充電中（満充電になると赤色の LED が消灯します。）

ビープ音

ビープ音	**動作**
短い高音（100ms）が 1 回鳴った。	バーコードを正常に読み取りました。
短い高音（20ms）が 1 回鳴った。	データはスキャナーから PC/スマートフォン等デバイスにアップロードされました。
長い高音（400ms）が 1 回鳴った。	設定エラー（セットアップ状態では、青色の LED は点灯したままです） Bluetooth ペアリング失敗（ペアリング中にのみ発生します）バ ッファ容量がなくなったため、スキャンされたバーコードは保存されません。
長い高音（800ms）は 2 回または数回を鳴った	USB が認識されています。
三和音（低音から高音）	セットアップモードに入りました。（青色 LED が点灯） 設定モードを終了しました。（青色 LED 消灯）
三和音（高音から低音）	Bluetooth 接続が成功しました。
短い音が 2 回鳴った	Bluetooth 接続が中断しました。
短い音（低音から高音まで）が 2 回鳴った。	設定に成功しました。
短いビープ音（高音から低音）が 2 回鳴った。	PC/スマートフォン等デバイスとの接続が中断されました。

長い高音が 2 回鳴った。（高音から中音）	ワイヤレスモードでスキャナーの電源が入れました（USB 接続が切断されている）
長い高音が 2 回鳴った。（中音から高音）	ワイヤレスモードでスキャナーの電源が切れました（USB 接続が切断されている）

対応バーコード

BCST-42 が対応可能のバーコードは、下記のリストで確認してください。詳しくは、バーコードタイプ設定をご覧ください。

対応可能バーコード		プリセット
Codabar		有効
Code 11		無効
Code 128		有効
GS1-128 (UCC/EAN-128)		無効
USPS		有効
FedEx		有効
Code 39		有効
Code 32		無効
Code 93		有効
EAN-8		有効
EAN-13		有効
ISBN		無効
ISSN		無効
MSI		無効
UPC- A		有効
UPC- E		有効
2 of 5 barcodes	IATA 2 of 5	無効
	Interleaved 2 of 5	有効
	Matrix 2 of 5	無効
	Standard 2 of 5 / Industrial 2 of 5	無効

QRCode	有効
PDF-417	有効
Aztec Code	無効
Maxi Code	無効
Data Matrix	有効
Han Xin Code	無効
GS1 DataBar、GS1 DataBar Expanded、GS1 DataBar Limited	有効

快速開始

本書の設定用バーコードを読み取ることにより、BCST-42 バーコードスキャナーの設定を変更することができます。BCST-42 スキャナーの設定例は以下のとおりです。

ご注意：出荷時のデフォルト設定は、「*」で示されています

ステップ	動作	
1	スイッチを「ON」に切り替え、スキャントリガーを短く押してスキャナーの電源をオンにします。	
2	バーコードをスキャンしてセットアップモードに入ります。 セットアップ	
3	設定バーコードを読み取ります。 例えば： Codabar を有効する	
4	下記のバーコードを読み取ってセットアップモードを終了します 保存して終了	下記のバーコードを読み取って誤ってスキャンした設定バーコードをクリアします。 保存せず終了

ボタンを利用して快速機能切替を実現する

Bluetooth 再ペアリング

ボタン（小さなアイコン）を長押しすると、青いライトが点滅します。この場合は、スキャナーは Bluetooth ペアリングモードに移行し、Bluetooth 接続待ちになります。接続が完了したら、 ボタンを押してスキャンを開始します。

バッテリー状態をすばやく確認する方法

ボタンを短く押します。点滅している緑色ライトが多いほど、バッテリー残量が多いです。黄色 LED が点滅する場合、バッテリーの残量が 10%未満で、スキャナーを充電してください。

在庫モードと通常モードを切り替える方法

ボタン（大きなアイコン）を押し続けてから、 ボタン（小さなアイコン）を長押しして、在庫モードと通常モードを切り替えます。

セットアップ

基本設定

システム設定

BCST-42 は Windows、Android、MacOS と互換性があります。 デフォルトでは Windows/Android 適応に設定しています。下記の関連バーコードをスキャンしてシステムを設定することができます。
ご注意：Android デバイスで BCST-42 を使用する場合は、Gboard を入力として適用してください。スキャナを「Windows / Android」モードに、入力キーボードを「アメリカンキーボード」に設定してください。スキャナキーボードの言語を Gboard 対応可能の US キーボードに設定する必要があります。Gboard の言語設定は出力に影響しません。

(*) Windows/Android モード	Mac OS/iOS モード

キーボード設定

(*) US キーボード	ドイツ語キーボード
フランス語キーボード	スペイン語キーボード
イタリア語キーボード	UK キーボード

保存して終了

セットアップ

日本語キーボード (ローマ字)	カナダ語キーボード
セルビア語キーボード	

カスタム設定を保存する

BCST-42 は設定をカスタマイズして保存することができます。カスタム設定を保存するには、「セットアップ」-「カスタム設定のバーコード」(例えば、「出力コード ID」)-「カスタム設定の保存」バーコードを順番に読み取ります。「カスタム設定の保存」バーコードを読み取ると、スキャナーはセットアップモードを終了します。

スキャナーを再構成してから、カスタム設定に復元したい場合は、「セットアップ」-「カスタム設定の復元」バーコードを読み取ります。「カスタム設定の復元」バーコードを読み取ると、セットアップモードを終了します。

カスタム設定の保存	カスタム設定を復元

保存して終了

セットアップ

工場出荷時の設定に戻す

以下の状況では、「工場出荷時の設定に戻す」のご利用をお勧めします。
設定が間違っているか、バーコードの読み取りに失敗した場合。
2. 以前の設定が忘れられました、バーコードスキャンがそちらの設定の影響を受けたくない場合。
3. よく使われない設定を使用した後、初期設定に復元する場合。

「セットアップ」-「工場出荷時の設定に戻す」バーコードを順番にスキャンします。「保存して終了」のバーコードを読み取る必要はありません。
ご注意：工場出荷時の設定に戻した場合、在庫モードで保存されたデータはクリアされます。

工場出荷時の設定に戻す

ソフトウェアのバージョン番号の確認

ソフトウェアバージョンを確認するには、バーコード「セットアップ」-「ソフトウェアのバージョン番号の確認」をスキャンします。 ソフトウェアのバージョン番号は、BCST-42 に接続されているデバイスに出力されます。
ソフトウェアのバージョンを確認するには、通常、設定モードで実行されるため、ソフトウェアバージョンの表示後に「保存せずに終了」バーコードをスキャンする必要があります。

ソフトウェアのバージョン番号の確認

保存して終了

セットアップ

バッテリー残量表示

「バッテリー残量表示」のバーコードをスキャナーして、バッテリー残量が表示されます。「セットアップ」のバーコードをスキャンする必要がありません。バッテリー残量は、BCST-42 に接続されているデバイスに出力されます。

バッテリー残量表示

データ伝送スピード

デフォルトでは、効率を最大限に向上させるために、データ伝送スピードが高速送信の「データ伝送間隔時間 0ms」に設定しています。データを失う恐れがあるので、ある低速ソフトウェア(例えばアンドロイドデバイスのエクセル)で動作する場合は、低速送信モードに設定することを推奨します。

(*) データ伝送間隔時間 0ms	データ伝送間隔時間 16ms
データ伝送間隔時間 32ms	データ伝送間隔時間 64ms
データ伝送間隔時間 96ms	データ伝送間隔時間 128ms

データ伝送間隔時間 256ms

保存して終了

セットアップ

自動スリープモード

バッテリーの電力を節約するために、スキャナが設定した時間間隔で、自動的にスリープモードに移行することが実現できます。デフォルトの時間間隔では、10分間に設定されています。

 (*)自動スリープモードを有効する	 自動スリープモードを無効する
 1 分間	 3 分間
 5 分間	 (*)10 分間
 30 分間	 60 分間

データバッファ

レシーバーが送信範囲外にある場合、読み取られたすべてのデータは 4Mb のバッファに保存されます。
デバイスにデータを一括アップロードするには、送信範囲に戻ってトリガーをダブルクリックします。
スキャナーの電源を入れるたびに、バッファーに保存されているバーコードを消去するかどうかを設定することができます。

保存して終了

セットアップ

 自動バッファークリアを有効する	 (*) 自動バッファークリアを無効する
下記のバーコードをスキャンして、データを自動的にアップロードする/しないと設定することができます。デフォルトで「バッファデータの自動アップロードしない」に設定していました。 接続が成功した後にバッファ内のデータを自動的にアップロードするには、「バッファデータの自動アップロードを有効する」を設定してください。	
 バッファデータの自動アップロードを有効する	 (*) バッファデータの自動アップロードを無効する

在庫モード

在庫モードでは、バーコードはバーコードスキャナーのバッファーに保存され、必要に応じて何度でもアップロードできます。 デバイスにアップロードした後、バッファ内のバーコードをクリアすることもできます。 ご注意：以下のバーコードを読み取るときに、「セットアップ」と「保存して終了」バーコードをスキャンする必要はありません。本機能は、対応する機能設定バーコードをスキャンするだけで実行できます。	
 在庫モード	 (*) 通常モードに戻す

保存して終了

セットアップ

バーコードをスキャンしてバッファ内のデータをクリアします(在庫モードのみ)
バッファ内のデータをクリアする(在庫モードのみ)
バーコードをスキャンしてバッファからデータをアップロードします。(在庫モードのみ)
データアップロード(在庫モードのみ)
バーコードをスキャンしてバッファからバーコードの数をアップロードします。(在庫モードのみ)
バーコードの数をアップロードする。(在庫モードのみ)
在庫モードで、同じバーコードを 2 回スキャンしたくない場合は、スキャナーを「重複スキャンチェックを有効にする」に設定できます。 設定後、スキャナーが重複バーコードを読み取ると、「ビープ音」が鳴り、スキャンされた重複バーコードはバッファーに保存されません。デフォルトで「重複スキャンチェックを無効にする」に設定しています。 必要に応じて、「重複スキャンチェック」を有効にすることができます。

重複スキャンチェックを有効する	(*) 重複スキャンチェックを無効する

保存して終了

セットアップ

照明光制御

 (*) スキャン時に点灯	
 常時点灯	 点灯しない

ビゲーションライト制御

 (*) スキャン時に点灯	
 常時点灯	 点灯しない

ナビゲーションライト点滅

 (*) ナビゲーションライト点滅を有効する	 ナビゲーションライト点滅を無効する

保存して終了

セットアップ

音量調整

ミュート	最小音量
(*) 中音量	最大音量

振動通知

震度通知を無効する	(*) 震度通知を有効する (弱)
震度通知を有効する (強)	

保存して終了

セットアップ

スキャニングモード

自動赤色光遮断モード

デフォルトでは、スキャニングモードは自動赤色光遮断モードに設定されています。トリガーをクリックすると、読み取り窓から赤い光が投光され、バーコードをスキャンできます。バーコードが正常にスキャンされない場合、設定した待機時間後にレーザーは自動的に消光します。通常、デフォルトは 2 秒で、1 秒、2 秒、3 秒、5 秒に設定できます。バーコードを正常にスキャンした場合はレーザーがすぐに消えます。

例：下記の手順に従って自動赤色光遮断モードを有効にして、待機時間を１秒に設定します。

1. 「セットアップ」バーコードをスキャンする
2. 「自動赤色光遮断モードモード」のバーコードを読み取ります。
3. 「自動赤色光遮断モードの待機時間を設定」のバーコードを読み取ります。
4. 「１秒」のバーコードを読み取ります。
5. 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

 (*) 自動赤色光遮断モード	 自動赤色光遮断モードの待機時間を設定
 1 秒	 (*)2 秒
 5 秒	 50 秒

保存して終了

セットアップ

連続読み取りモード

連続読み取りモードでは、トリガーをクリックする必要なくて、赤い光が常時投光され、スキャナが自動的にスキャン状態に入ります。
バーコードを正常に読み取ったまでに赤いレーザーは消光されません。バーコードを正常に読み取ると、スキャナーはレーザーが消えて待機モードに入ります。
デフォルトの待機時間が 2 秒に設定され、ご利用環境により、400ms、800ms、1 秒、2 秒、3 秒、5 秒、10 秒、10 秒、15 秒に設定することができます。
待機時間が経過するとスキャナのレーザーが再び投光されます。スキャナがバーコードを正常に読み取るとレーザーが消えます。この動作を繰り返し行います。
例：下記の手順に従って連続読み取りモードを有効にして、待機時間を 1 秒に設定します。

1.「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2.「連続読み取りモード」のバーコードを読み取ります。
3.「連続読み取りモードの待機時間」のバーコードを読み取ります。
4.「1 秒」 のバーコードを読み取ります。
5.「保存して終了」 のバーコードを読み取ります。

ご注意：アスタリスク "*"は各設定の出荷時のデフォルト値を示しています

連続読み取りモード	連続読み取りモードの待機時間を設定
400ms	800ms
1 秒	(*) 2 秒

保存して終了

セットアップ

 3 秒	 5 秒
 10 秒	 15 秒

手動モード

手動モードでは、トリガーを押すと、赤色のレーザービームを投光し、バーコードを読み取ることができます。次のような状況になると、赤色のレーザーが消光します。 バーコードを正常に読み取りました トリガーを放しました。
 手動モード

ハンズフリーモード

ハンズフリーモードでは、バーコードを正常に読み取った後も赤い光は点灯したままですが、同じバーコードを繰り返し読み取ることはありません。 以下のバーコードをスキャンして、スキャナーをハンズフリーモードに設定できます。
 ハンズフリーモード

保存して終了

セットアップ

接続方法

ワイヤレス Bluetooth モード

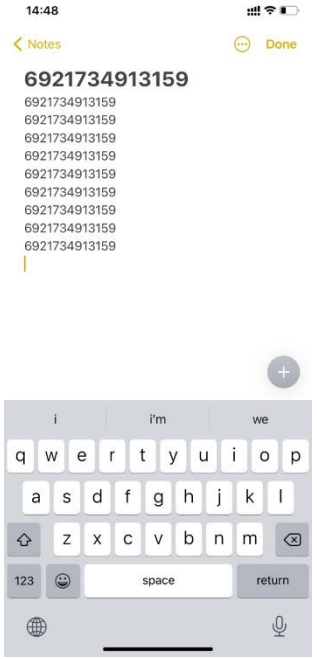
Bluetooth HID モードがデフォルト設定です。Bluetooth HID モードに設定するには、「セットアップ」-「Bluetooth HID モード」-「保存して終了」の順でバーコードを読み取ります。
BCST-42 が Bluetooth ワイヤレステクノロジー経由でデバイスと接続したことがない場合は、電源が入れた後、BCST-42 は自動で接続待ちの状態に入ります。
さらに、以下のペアリングバーコードをスキャンして、スキャナーを接続待ちの状態に移行することもできます。
Bluetooth を介してデバイスとペアリングしたことがあるデバイスで　　ある場合は、、BCST-42 は次回電源を入れたときに自動に再接続されます。
ご注意：通常、BCST-42 は以前に接続されたデバイスに自動的に再接続できます。失敗した場合、ホストデバイスのリストから BCST-42 のペアリング履歴を削除してもう一度ペアリングして接続してください。

ペアリング

保存して終了

セットアップ

HID モードでは、BCST-42 と接続してから、 お使いのスマートフォンは仮想キーボードが非表示されます。iOS ユーザーの場合、ポップアウトするには、トリガーを 1 秒間長押します。もう一度長押しすれば、仮想キーボードが非表示されます。下記通りでご参考ください。



ご利用のデバイスが Android である場合は、仮想キーボードを有効するには、下記の手順に従って操作してください。

Android デバイスで「設定」を開きます。

2. 言語と入力方法を選択します。 ご利用のアンドロイドデバイスのバージョンに応じて、次の手順を実行します。

Android 7.0 以降：[物理キーボード]→[仮想キーボードの表示]を選択します。

Android 6.0 以降：現在のキーボード→ハードウェア(入力方法の表示)を選択します。

保存して終了

セットアップ

Bluetooth 名前の設定

BCST-42 は、Bluetooth 名前設定が可能で、文字数が 32 桁を超えることができません。Bluetooth 名前を設定する前に、BCST-42 が Bluetooth HID モードまたは Bluetooth GATT モードで動作することを確認してください。「セットアップ」-「Bluetooth 名前の設定」-Bluetooth 名前（付録の各文字のバーコードを読み取ります）-「保存して終了」を読み取ります。

ご注意：Bluetooth 名前を設定した後は、ワイヤレス Bluetooth 接続を切断して、スマホ/コンピュータ等デバイス端末でペアリング履歴を削除してください。

Bluetooth を介してスキャナーをスマホまたはコンピューターに再接続すると、新しい Bluetooth 名を表示します。

例えば、「Tom」を Bluetooth 名前として設定する手順は下記通りで参考してください。

1.「セットアップ」バーコードを読み取ります。
2.「Bluetooth 名前の設定」バーコードを読み取ります。
3.付録の「T」のバーコードを読み取ります。
4.付録の「o」のバーコードを読み取ります。
5.付録の「m」のバーコードを読み取ります。
6.「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

Bluetooth 名前の設定

保存して終了

バーコード設定

Codabar

Codabar を有効/無効にする	
(*)Codabar を有効する	Codabar を無効する
スタート・ストップキャラクタを伝送する	
(*) Codabar スタート・ストップキャラクタを伝送する	Codabar スタート・ストップキャラクタを伝送しない

Code 11

Code 11 を有効/無効にする	
Code 11 を有効にする	(*) Code 11 を無効にする

セットアップ

チェックサム検証
Code11 はチェックサム文字がデータに含まれることが強制されていません。チェックサム文字が含まれている場合は、チェックサム文字がバーコードデータの末尾の 1 桁または 2 桁になります。 すべてのデータに基づく計算値として、チェックサム文字はデータが正しいかどうかを検証します。 スキャナがデフォルトで「バーコードを検証しない」に設定されている場合、スキャナはすべてのバーコードを読み取ります。 スキャナが「1 桁のチェックサム文字で検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の 1 桁に基づいてデータを検証します。 チェックサム文字なしの Code11 または 2 桁のチェックサム文字付き Code 11 を読み取ることはできません。 スキャナが「2 桁のチェックサム文字で検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の 2 桁に基づいてデータを検証します。 チェックサム文字なしの Code 11 または 1 桁のチェックサム文字付き Code 11 を読み取ることはできません。 スキャナが「チェックサム文字を出力して検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の 1 桁または 2 桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナは通常のデータの末尾の 1〜2 桁としてチェックサム文字を出力します。 Inateck BCST-42 はデフォルトでチェックサム文字を出力します。 スキャナが「チェックサム文字を出力しないで検証」に設定されている場合、スキャナはチェックサム文字を出力しません。

(*) バーコードを検証しない	1 桁のチェックサム文字で検証

保存して終了

セットアップ

2 桁のチェックサム文字で検証	(*) チェックサム文字を出力して検証
チェックサム文字を出力しない検証	

Code 128

Code128 を有効/無効にする	
(*)Code 128 を有効する	Code 128 を無効する

GS1-128 (UCC-128/EAN-128)

GS1-128 (UCC-128/EAN-128)を有効/無効にする	
GS1-128 を有効する	(*) GS1-128 を無効する

USPS と FedEx

USPS と FedEx を有効/無効にする	
(*)USPS と FedEx を有効する	USPS と FedEx を無効する

保存して終了

セットアップ

Code 39

Code 39 を有効/無効にする	
(*) Code 39 を有効する	Code 39 を無効する
スタート・ストップキャラクタを伝送する	
Code39 スタート・ストップキャラクタを伝送する	(*) Code39 スタート・ストップキャラクタを伝送しない
チェックサム検証	
Code39 はチェックサム文字がデータに含まれることが強制されていません。チェックサム文字が含まれている場合は、チェックサム文字がバーコードデータの末尾の 1 桁になります。 すべてのデータに基づく計算値として、チェックサム文字はデータが正しいかどうかを検証します。 スキャナがデフォルトで「バーコードを検証しない」に設定されている場合、スキャナはすべてのバーコードを読み取ります。 スキャナが「チェックサム文字を出力して検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の 1 桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナは通常のデータの末尾の 1 桁としてチェックサム文字を出力します。この場合はチェックサム文字なしの Code39 を読み取ることはできません。 スキャナが「チェックサム文字を出力しないで検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の 1 桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナはバーコードを読み取られますが、チェックサム文字を出力しません。この場合はチェックサム文字なしの Code39 を読み取ることはできません。	

保存して終了

セットアップ

(*)Code 39 を検証しない

 チェックサム文字を出力して Code 39 を検証	 チェックサム文字を出力しないで Code 39 を検証
ASCII コード認識範囲の設定	
 すべての Code 39 ACSII 文字を有効する	 (*) すべての Code 39 ACSII 文字を有効しない

VIN (車両識別番号)

Code 39 VIN (車両識別番号)を有効/無効にする
 VIN を有効する
 (*) VIN を無効する

Code 32

Code 32 を有効/無効にする
Code 32 は、通常イタリアの医療製品に適用され、Code 39 の特別な形式です。 BCST-42 はデフォルトで Code 32 を無効に設定しています。

保存して終了

セットアップ

 Code 32 を有効する	 (*) Code 32 を無効する
Code 32 は先頭文字が A に固定されています。以下の関連するバーコードをスキャンして、Code32 の先頭文字 A を有効/無効にするオプションを選ぶことができます。 BCST-42 はデフォルトで Code32 の先頭文字 A を無効に設定しています。	
 Code32 の先頭文字“A”を有効する	 (*) Code32 の先頭文字“A”を無効する

Code 93

Code 93 を有効/無効にする	
 (*) Code 93 を有効する	 Code 93 を無効する

EAN-8

EAN-8 を有効/無効にする	
 (*)EAN-8 を有効する	 EAN-8 を無効する
チェックサム検証	
 (*)EAN-8 チェックサムを送信する	 EAN-8 チェックサムを送信しない

保存して終了

セットアップ

EAN-13

EAN-13 を有効/無効する	
(*)EAN-13 を有効する	EAN-13 を無効する
チェックサム検証	
(*) EAN-13 チェックサムを送信する	EAN-13 チェックサムを送信しない

ISBN

EAN-13 を ISBN に変換する	
EAN-13 を ISBN に変換する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、EAN-13 を ISBN に変換しないことに設定しています。	
EAN-13 を ISBN に変換する	(*)EAN-13 を ISBN に変換しない
EAN-13 を ISSN に変換する	
EAN-13 を ISSN に変換する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、EAN-13 を ISSN に変換しないことに設定しています。	
EAN-13 を ISNN に変換する	(*) EAN-13 を ISNN に変換しない

保存して終了

MSI

MSI を有効/無効する	
MSI を有効する	(*) MSI を無効する

Checksum Code チェックサム検証

MSI はチェックサム文字がデータに含まれることが強制されていません。チェックサム文字が含まれている場合は、チェックサム文字がバーコードデータの末尾の 1 桁または 2 桁になります。 すべてのデータに基づく計算値として、チェックサム文字はデータが正しいかどうかを検証します。
スキャナがデフォルトで「バーコードを検証しない」に設定されている場合、スキャナはすべてのバーコードを読み取ります。
スキャナが「1 桁のチェックサム文字で検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の 1 桁に基づいてデータを検証します。 チェックサム文字なしの MSI または 2 桁のチェックサム文字付き MSI を読み取ることはできません。
スキャナが「2 桁のチェックサム文字で検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の 2 桁に基づいてデータを検証します。 チェックサム文字なしの MSI または 1 桁のチェックサム文字付き MSI を読み取ることはできません。
スキャナが「チェックサム文字を出力して検証」に設定されている場合、スキャナはバーコードデータの末尾の 1 桁または 2 桁に基づいてデータを検証します。検証に合格すると、スキャナは通常のデータの末尾の 1〜2 桁としてチェックサム文字を出力します。 BCST-42 はデフォルトでチェックサム文字を出力します。
スキャナが「チェックサム文字を出力しないで検証」に設定されている場合、スキャナはチェックサム文字を出力しません。

セットアップ

 (*) MSI を検証しない	 1 桁のチェックサム文字で MSI を検証する
 2 桁のチェックサム文字で MSI を検証する	 (*)チェックサム文字を出力して検証
 チェックサム文字を出力しないで検証	

UPC-A

UPC-A を有効/無効にする	
 (*)UPC-A を有効する	 UPC-A を無効する
UPC-A に 0 を付加する	
出力した UPC-A バーコードデータに 0 を付加する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、0 を付加しないことに設定しています。	
 UPC-A に 0 を付加する	 (*) UPC-A に 0 を付加しない

保存して終了

セットアップ

チェックサム検証	
UPC-A チェックサムを送信する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルト設定として、UPC-A チェックサムを送信しないことに設定しています。	
 UPC-A チェックサムを送信する	 (*) UPC-A チェックサムを送信しない
ナンバーシステムキャラクタ	
UPC-A の先頭の桁はナンバーシステムキャラクタです。 以下の関連するバーコードをスキャンして、UPC-A ナンバーシステムキャラクタを出力する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルトで「UPC-A ナンバーシステムキャラクタを出力する」に設定しています。	
 (*) UPC-A ナンバーシステムキャラクタを出力する	 UPC-A ナンバーシステムキャラクタを出力しない

UPC-E

UPC-E を有効/無効にする	
 (*) UPC-E を有効する	 UPC-E を無効する

保存して終了

UPC-E1 を有効/無効にする	
ほとんどの UPC-E バーコードの先頭の桁は「0」です。 先頭の桁が「1」の UPC-E バーコードを読み取る場合は、先に UPC-E を有効にしてから、「UPC-E1 を有効にする」バーコードを設定してください。デフォルト設定として、UPC-E1 を無効に設定しています。	
UPC-E1 を有効する	(*) UPC-E1 を無効する
UPC-E の先頭文字を有効/無効にする	
(*)UPC-E の先頭文字を有効にする	UPC-E の先頭文字を無効にする
UPC-E を UPC-A に変換する	
UPC-E を UPC-A に変換する	(*) UPC-E を UPC-A に変換しない
チェックサム検証	
(*)UPC-E チェックサムを送信する	UPC-E チェックサムを送信しない

セットアップ

IATA 2 of 5

IATA 25 を有効/無効にする	
IATA 25 を有効する	(*) IATA 25 を無効する

Interleaved 2 of 5

Interleaved 2 of 5 を有効/無効にする	
(*)Interleaved 2 of 5 を有効する	Interleaved 2 of 5 を無効する

Matrix 2 of 5

Matrix 2 of 5 を有効/無効にする	
Matrix 2 of 5 を有効する	(*) Matrix 2 of 5 を無効する

Standard 2 of 5 / Industrial 2 of 5

Standard 2 of 5/Industrial 2 of 5 を有効/無効する
以下の関連するバーコードをスキャンして、Standard 2 of 5/Industrial 2 of 5 を有効/無効にするオプションを選ぶことができます。デフォルトで「Standard 2 of 5/Industrial 2 of 5 を無効する」と設定します。

保存して終了

セットアップ

Standard 2 of 5/Industrial 2 of 5 を有効する	(*)Standard 2 of 5/Industrial 2 of 5 を無効する

GS1 DataBar

GS1 DataBar Limited、GS1 DataBar Expanded、GS1 DataBar Stacked 等バーコードは、GS1DataBar と同じで、以下の設定バーコードをスキャンして設定を変更します。

GS1 DataBar を有効/無効する	
(*)GS1 DataBar を有効する	GS1 DataBar を無効する
GS1 DataBar Composite を有効/無効する	
(*) GS1 DataBar Composite を有効する	GS1 DataBar Composite を無効する

QR Code

Micro QR Code 等バーコードは、QR Code と同じで、以下の設定バーコードをスキャンして設定を変更します。

QR Code を有効/無効する	
(*)QR code を有効する	QR code を無効する

保存して終了

セットアップ

通常/白黒反転 QR コード認識	
「通常 QR コードのみを読み取る」とは、スキャナーが白い背景と黒い線のある通常 QR コードのみを読み取ることを意味します。 「通常/白黒反転 QR コードを読み取る」とは、背景が黒で線が白い白黒反転された QR コードも通常の QR コードのように読み取ることができることを意味します。 スキャナーはデフォルトで、通常の QR コードのみを読み取ります。 必要に応じて「通常/白黒反転 QR コードを読み取る」に設定できます。	
(*) 通常 QR コードのみを読み取る	通常/白黒反転 QR コードを読み取る

Data Matrix

Data Matrix を有効/無効する	
(*)Data Matrix を有効する	Data Matrix を無効する

通常/白黒反転 Data Matrix 認識
「通常 Data Matrix のみを読み取る」とは、スキャナーが白い背景と黒い線のある通常の Data Matrix のみを読み取ることを意味します。 「白黒反転 Data Matrix のみを読み取る」とは、スキャナーが背景が黒で線が白い白黒反転された Data Matrix のみを読み取ることを意味します。 「通常/白黒反転 Data Matrix を読み取る」とは、2 種類の Data Matrix を読み取ることができることを意味します。 スキャナーはデフォルトで、通常の QR コードのみを読み取ります。 必要に応じて「通常/白黒反転 Data Matrix を読み取る」または「白黒反転 Data Matrix のみを読み取る」に設定できます。

保存して終了

セットアップ

(*) 通常 Data Matrix のみを読み取る	白黒反転 Data Matrix のみを読み取る
通常/白黒反転 Data Matrix を読み取る	

PDF 417

Micro PDF 417 等バーコードは、PDF 417 と同じで、以下の設定バーコードをスキャンして設定を変更します。

PDF 417 を有効/無効する	
(*)PDF 417 を有効する	PDF 417 を無効する

Aztec code

Aztec Code を有効/無効する	
Aztec Code を有効する	(*)Aztec Code を無効する

Maxi code

Maxi Code を有効/無効する	
Maxi Code を有効する	(*)Maxi Code を無効する

保存して終了

セットアップ

Han Xin Code

Han Xin Code を有効/無効する	
Han Xin Code を有効する	(*)Han Xin Code を無効する
通常/白黒反転 Han Xin Code 認識	
(*) 通常 Han Xin Code のみを読み取る	白黒反転 Han Xin Code のみを読み取る
通常/白黒反転 Han Xin Code を読み取る	

保存して終了

セットアップ

データフォーマットを編集する

Code ID

Code ID 文字は、バーコードのコードタイプを識別します。複数のコードタイプをデコードするときに役立ちます。 以下の関連するバーコードをスキャンして、バーコードの先頭に Code ID を付加する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルトで「Code ID を付加しない」と設定します。

Code ID を付加する	(*) Code ID を付加しない

Code ID リスト

Code タイプ	Code ID
Code 128	a
EAN-13	b
EAN-8	c
UPC-A	d
UPC-E	e
Code 39	f
Code 93	g
Codabar	h
Interleaved 2 of 5	i
Standard 2 of 5、Industrial 2 of 5	j
Matrix 2 of 5	k
IATA 2 of 5	l
MSI	m
Code 11	n
ISBN	P

保存して終了

ISSN	q
QRCode	A
PDF-417	B
Aztec Code	C
Maxi Code	D
Data Matrix	E
Han Xin Code	F
GS1 128	G
GS1 DataBar、GS1 DataBar Expanded、GS1 DataBar Limited	H

バーコードの停止コードに関する設定

バーコードの停止文字としてEnterを適用する/しないオプションを選ぶことができます。デフォルトで「Enter を適用する」と設定します。	
(*) 停止文字として Enter を適用する	停止文字として Enter を適用しない

セットアップ

プレフィックス/サフィックス設定

BCST-42 では 1〜32 桁のプレフィックス/サフィックスをカスタマイズされることをサポートされています。デフォルトとして BCST-42 は、プレフィックス/サフィックスを出力すると設定していますが､関連するバーコードをスキャンして、プレフィックス/サフィックスを非表示することができます。
サポートされているプレフィックス/サフィックスのバーコードは付録 1 をご覧になってください。
下記の手順に従って、「#」をプレフィックスとして、「D」をサフィックスとして出力データを設定します
1).「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2).「プレフィックス設定」のバーコードを読み取ります。
3).「＃」のバーコードを読み取ります。（付録 1 をご参照ください）
4).「サフィックス設定」のバーコードを読み取ります。
5).「D」のバーコードを読み取ります。（付録 1 をご参照ください）
6).「保存して終了」のバーコードを読み取ります。
ご注意 :プレフィックス/サフィックス設定が完了すると自動的にプレフィックス/サフィックスを出力します。

 プレフィックスを設定する	 (*)プレフィックスを表示する
 (*)サフィックスを表示する	 サフィックスを設定する
 プレフィックスを非表示する	 サフィックスを非表示する

保存して終了

セットアップ

バーコードデータの先頭/末尾文字の削除

BCST-42 は、出力されたバーコードデータの先頭/末尾の（0～99 桁）文字を削除できます。初期設定で出力されたバーコードデータの先頭/末尾の文字が削除されません（0 桁を削除する）。

下記の手順に従って、12 桁の先頭文字と 4 桁の末尾文字を削除することを設定します。

1)「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2)「先頭文字を削除する」のバーコードを読み取ります。
3)「1 桁」のバーコードを読み取ります。
4)「2 桁」のバーコードを読み取ります.
5)「末尾文字を削除する」のバーコードを読み取ります。
6)「4 桁」のバーコードを読み取ります。
7)「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

 先頭文字を削除する	 末尾文字を削除する
 (*) 0 桁	 1 桁
 2 桁	 3 桁
 4 桁	 5 桁

保存して終了

6 桁	7 桁
8 桁	9 桁

大文字/小文字の設定

BCST-42 はバーコードの文字をすべて大文字または小文字に切り替えることできます。デフォルトでは「大文字/小文字を変更しない」と表示されますが、以下の関連するバーコードをスキャンして大文字/小文字を変更することができます。

大文字に変更する	小文字を変更する
(*) 大文字/小文字を変更しない	

追加コード

EAN-8、EAN-13、ISBN、ISSN、UPC-A および UPC-E などバーコードは追加コードをつけることができます。 2 桁または 5 桁の追加コードは通常、メインコードの右側にありますが、メインコードよりサイズが小さいです。追加コードが無効になっている場合に BCST-42 はメインコードのみ読み取ります。

セットアップ

2 桁の追加コード	
以下の関連するバーコードをスキャンして、EAN-8、EAN-13、ISBN、ISSN、UPC-A および UPC-E などバーコードに 2 桁の追加コードを有効/無効するオプションを選ぶことができます。デフォルトで「2 桁の追加コードを無効する」と設定します。	
2 桁の追加コードを有効する	(*) 2 桁の追加コードを無効する
5 桁の追加コード	
以下の関連するバーコードをスキャンして、EAN-8、EAN-13、ISBN、ISSN、UPC-A および UPC-E などバーコードに 5 桁の追加コードを有効/無効するオプションを選ぶことができます。デフォルトで「5 桁の追加コードを無効する」と設定します。	
5 桁の追加コードを有効する	(*) 5 桁の追加コードを無効する

追加コードを必ず読み取る機能

本機能を有効にすると、スキャナーは追加コードのあるバーコードのみを認識し、追加コードのないバーコードを読み取ることができません。 本機能を無効にすると、追加コードのないと追加コードのあるバーコードの両方とも読み取ります。	
追加コードを必ず読み取ることを有効する	(*)追加コードを必ず読み取ることを無効する

保存して終了

セットアップ

区切り文字

バーコードの間に区切り文字「-」を追加するかどうかを設定することができます。この機能は、追加コード、ISBN コード、および ISSN コードに適用できます。デフォルトで区切り文字「-」を無効にします。

 区切り文字「-」を追加する	 (*) 区切り文字「-」を追加しない

Caps Lock 制御

Windows システムで BCST-42 を操作する際に、Caps Lock キーの状態によりバーコード出力結果が変更されることがあります。このようなことを避けるために、「Caps Lock 制御を解除する」のバーコードを有効にしてください。

 (*) Caps Lock 制御	 Caps Lock 制御を解除する

特定の文字で始まるバーコードのみを出力する

BCST-42 は、特定の文字（最大 6 桁）で始まるバーコードのみを読み取ることに設定できます。出力可能の文字は付録 I をご参考ください。デフォルトとし「任意の文字で始まるバーコードを出力する」と設定しています。

下記の手順に従って「A6 で始まるバーコードを出力する」と設定します

1.「セットアップ」のバーコードを読み取ります。

2.「特定の文字で始まるバーコードを出力する」のバーコードを読み取ります。

3.「A」のバーコードを読み取ります。（付録 1 をご参照ください）

4.「6」のバーコードを読み取ります。（付録 1 をご参照ください）

5.「保存して終了」のバーコードを読み取ります。

ご注意：始まる文字を設定した後、BCST-42 は、特定の文字で始まるバーコードのみ出力します。無効するには、「セットアップ」-「任意の文字で始まるバーコードを出力する」-「保存して終了」のバーコードを順番で読み取ります。

保存して終了

セットアップ

 始まる文字を設定する	 特定の文字で始まるバーコードを出力する
 (*) 任意の文字で始まるバーコードを出力する	

白黒反転したバーコードを出力する

白黒反転バーコードとは、黒（バー）と白（スペース）が逆の 1D バーコードを指します。 （2D バーコードは、白黒反転に関する設定がバーコードの種類によって個別に行われています。	
 白黒反転バーコードを有効する	 (*) 白黒反転バーコードを無効する

特定の開始文字を非表示する

Code 128 および Code 39 は、特定の開始文字により製品パラメーターを示すために使用されます。 例えば、開始文字「P」は部品番号、開始文字「Q」は数量を表示します。BCST-42 は、D、K、P、Q、S、V、1P、1T、10D、17V、2P、4L などCode 128 およびCode 39 の特定の開始文字を非表示にすることができます。非表示にすると、出力されなくなります。BCST-42 のデフォルトは「特定の開始文字を出力する」と設定しています。	
 特定の開始文字を出力しない	 (*) 特定の開始文字をを出力する

保存して終了

セットアップ

タイムスタンプ

タイムスタンプには、時刻（時、分、秒）と日付（年、月、日）が表示されます。BCST-42 はデフォルトで「タイムスタンプを出力しない」と設定しています。タイムスタンプを出力する/しないと設定できます。 また、時刻のみ/日付のみ/時刻と日付を出力することと設定できます。設定後、タイムスタンプは 24 時間形式で表示され、各バーコードの末尾に追加されます。	
 時刻を出力する	 (*) 時刻を出力しない
 日付を出力する	 (*) 日付を出力しない
 セットアップ	 保存して終了
タイムゾーンが異なるか、バッテリーが切れたため、タイムスタンプと現地時間が同期していないという問題が発生する場合があります。この場合は、以下のバーコードをスキャンしてタイムスタンプを設定してください。	
 タイムスタンプの年を設定する	 タイムスタンプの月を設定する
 タイムスタンプの日を設定する	 タイムスタンプの時を設定する

保存して終了

セットアップ

 タイムスタンプの分を設定する	 タイムスタンプの秒を設定する
 数字 0	 数字 1
 数字 2	 数字 3
 数字 4	 数字 5
 数字 6	 数字 7
 数字 8	 数字 9

保存して終了

セットアップ

下記の手順に従って、タイムスタンプを 09：34：07 2019/04/18 に設定します。
1.「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2.「タイムスタンプで年を設定」のバーコードを読み取ります。
3.「数字１」のバーコードを読み取ります。
4.「数字 9」のバーコードを読み取ります。
5.「タイムスタンプで月を設定」のバーコードを読み取ります。
6.「数字 4」のバーコードを読み取ります。
7.「タイムスタンプで日を設定」のバーコードを読み取ります。
8.「数字 1」のバーコードを読み取ります。
9.「数字 8」のバーコードを読み取ります。
10.「タイムスタンプで時を設定」のバーコードを読み取ります。
11.「数字 9」のバーコードを読み取ります。
12.「タイムスタンプで分を設定」のバーコードを読み取ります。
13.「数字 3」のバーコードを読み取ります。
14.「数字 4」」のバーコードを読み取ります。
15.「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
16.「タイムスタンプで秒を設定」のバーコードを読み取ります。
17.「数字 7」のバーコードを読み取ります。
18.「保存して終了」のバーコードを読み取ります。
ご注意：タイムスタンプで年を 2000 年から 2099 年までしか設定できません。

保存して終了

セットアップ

ショートカットキー

ショートカットバーコードには 2 つのタイプがあります。
1.入力タイプ：これらのショートカットバーコードを使用すると、いくつかの文字をすばやく入力できます。例えば、付録のバーコード「A」をスキャンすると、文字「A」が出力されます。付録 I を参照してください。
2.機能タイプ：これらのショートカットバーコードは、単独で、または組み合わせて機能します。バーコード「Tab」または「Enter」をスキャンすると、「Tab」または「Enter」が機能します。 付録 II および付録 III を参照してください。

 ショートカットキーを有効する	 (*) ショートカットキーを無効する

出力文字タイプ

ホストが指定されたコード形式で中国語のデータを印刷するには、「データコーディング形式」バーコードを読み取ります。 スキャナーはデフォルトで GBK コーディング形式でデータを出力します。
1.オリジナルデータ形式：データコーディング出力フォーマットはコード生成環境に関連しています。出力形式は GBK または UNICODE です。
2. GBK（GB2312）：メモ帳、Excel などのソフトウェアに適用できます。
3. UNICODE：WORD、QQ などのソフトウェアに適用できます。

 (*) オリジナルデータ形式	 GBK（GB2312）
 UNICODE	 (*) オリジナルデータ形式および GBK データコーディング形式での漢字認識を無効する

保存して終了

セットアップ

オリジナルデータ形式および GBK データコーディング形式での漢字認識を有効する

GS（^]）をランダム文字に置換

BCST-42 は、GS 分離文字（^]）をランダム文字に置き換えることをサポートしています。 スキャナーはデフォルトで本機能を無効にします。

GS 置換文字を A に設定するには、下記の通りで操作します。
1）「セットアップ」のバーコードを読み取ります。
2)「GS 置換文字を設定する」のバーコードを読み取ります。
3)付録 I の「A」のバーコードを読み取ります。
4) 「保存して終了」のバーコードを読み取ります。
ご注意：上記の手順で置換文字の設定を完了すると、BCST-42 は GS を他の文字に置換する機能を自動的に有効にします。 この機能を無効にする場合は、「セットアップ」-「GS を他の文字に置換することを無効する」-「終了して保存」バーコードを順番に読み取ってください。

GS 置換文字を設定する

GS をほかの文字に置換することを有効する

(*) GS をほかの文字に置換することを無効する

保存して終了

セットアップ

付録 Ⅰ：キャラクター

!	"
#	$
%	&
'	(
)	*
+	、
-	.

保存して終了

セットアップ

/	0
1	2
3	4
5	6
7	8
9	:
;	<

保存して終了

セットアップ

=	>
?	@
A	B
C	D
E	F
G	H
I	J

保存して終了

セットアップ

K	L
M	N
O	P
Q	R
S	T
U	V
W	X

保存して終了

セットアップ

Y	Z
[	\
]	^
_	`
a	b
c	d
e	f

保存して終了

セットアップ

g	h
i	j
k	l
m	n
o	p
q	r
s	t

保存して終了

セットアップ

u	v
w	x
y	z
{	|
}	~

保存して終了

セットアップ

付録 II：単独ショートカットキー

Enter Key	スペース
F1	F2
F3	F4
F5	F6
F7	F8
F9	F10
F11	F12

保存して終了

セットアップ

Tab	Backspace
Delete	カーソルを上に移動
カーソルを下に移動	カーソルを左に移動
カーソルを右に移動	Ctrl
Esc	Insert
Home	End
Page Up	Page Down

保存して終了

セットアップ

付録 III：組み合わせショートカット

NUL(Ctrl+@)	SOH(Ctrl+A)
STX(Ctrl+B)	ETX(Ctrl+C)
EOT(Ctrl+D)	ENQ(Ctrl+E)
ACK(Ctrl+F)	BEL(Ctrl+G)
BS(Ctrl+H)	HT(Ctrl+I)
LF(Ctrl+J)	VT(Ctrl+K)
FF(Ctrl+L)	CR(Ctrl+M)

保存して終了

セットアップ

SO(Ctrl+N)	SI(Ctrl+O)
DLE(Ctrl+P)	DC1(Ctrl+Q)
DC2(Ctrl+R)	DC3(Ctrl+S)
DC4(Ctrl+T)	NAK(Ctrl+U)
SYN(Ctrl+V)	ETB(Ctrl+W)
CAN(Ctrl+X)	EM(Ctrl+Y)
SUB(Ctrl+Z)	ESC(Ctrl+[)

保存して終了

セットアップ

FS(Ctrl+\)	GS(Ctrl+])
RS(Ctrl+^)	US(Ctrl+-)

保存して終了